

に過ごすために

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報等		名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報	
警戒 レベル	住民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
		浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	命を守る最善の行動	5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
4	危険な場所から 全員避難	4	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	3	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	2 相当	氾濫注意情報 —
1	最新情報に注意	1 相当	— —

(参考)「令和元年台風19号による災害からの避難に関するワーキンググループ」

- 避難とは難を避けること、安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- 警戒レベル3で《高齢者などは避難》、警戒レベル4で《全員避難》です。

分散避難

災害時には、避難所が過密状態になることを防ぐために、車両避難(車中泊)や安全な親戚宅、友人宅等への早めの避難を検討してみましょう。

■安全な親戚宅、友人宅等への避難

避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な場所に住んでいる親戚宅や友人宅等へ避難することも検討してみましょう。

■在宅避難

自宅が浸水や土砂災害の危険性がない場所であれば、避難所に行かず、とどまる「在宅避難」または自宅が2階建て以上の住宅にお住いの方は、自宅の2階以上に避難する「垂直避難」することも検討してみましょう。

■車両避難(車中泊)

- 一時的に車の中で過ごす「車両避難(車中泊)」することも検討してみましょう。
- ※車両避難を行う場合は、定期的な運動や換気などを心掛けましょう。
- ※垂直避難や車両避難を検討する際には、1週間程度の食料を備蓄するよう心がけましょう。

■指定避難所への避難

分散して避難することが困難な方は、指定避難所へ避難しましょう。避難所の収容人数や備蓄品には限りがあります。マスク、体温計、アルコール消毒液、食料など、ご自身に必要な物はあらかじめ準備しておくように心がけてください。